資料1-1

議題１　GIGAスクール構想実現に向けたICT環境整備後の端末の活用方法について（一宮市提出）

市名	回答		
	（１）端末を授業で活用する学年について	【②、④の場合】内容を記載	（２）授業での活用内容
名古屋市	①全学年で活用		児童生徒が自分の考えを入力した後、学級全体で共有し意見交流を行う。デジタルドリルで各自の進度やこれまでの学習履歴に合った問題を選択し取り組む。　等
豊橋市	①全学年で活用		インターネットで検索、QRコードから資料視聴、協働学習ソフトを利用した話し合い、電子ドリルで学習内容の補充、写真を撮って記録、演技を動画撮影して改善など。
岡崎市	①全学年で活用		協働学習ソフトで画面共有や共同編集、コメントのやり取りをしながら学び合いを行う。デジタルドリルソフトで、自分のペースで練習問題に取り組んだり、学び直しをしたりする。カメラ機能で実験結果を見直したり、体の動きを客観視したりする。様々なアプリを利用して、描画をしたり、作曲をしたりする。
一宮市	①全学年で活用		児童生徒が互いの考えを端末に入力してクラス全員が互いの考え方を共有し議論して考えを深めたり、ドリル教材を用いて個別にあった問題を解決したりする。
瀬戸市	①全学年で活用		ベネッセのミライシードを活用し、児童生徒が意見を送り合い、それを共有し、考えを深める。また、ドリルパークを用いて、個人の段階に応じて問題を解き進める。
半田市	①全学年で活用		授業で学んだこと、調べたことなどをまとめた結果を共有、発表したり、にほんご、あんざん等の授業で活用できる教育ソフトウエアにより学びへの意欲向上を図ったり、様々なドリルソフトにより個々の能力に応じた学習などに活用している。
春日井市	①全学年で活用		児童生徒が互いの考えを端末に入力して、クラス内で互いの考えを共有し考えを深める。インターネットを使って調べ学習をする。
豊川市	②一部の学年で活用	９月からの全面運用に向けて、端末の配備が終わった学年から活用している。	児童生徒の関わり合い（話し合い活動、協働学習）に活用する。ドリル教材等を使用し基礎力の定着を図る。カメラ機能を活用し、教科等で活用する。授業での振り返りの際に活用する。
津島市	①全学年で活用		授業支援ソフトを活用し、各児童生徒の考えを記載し、児童生徒間で共有して新たな意見を出したり、ドリル教材を活用して、各児童生徒のレベルに合わせた課題解決を図ったりしている。
碧南市	①全学年で活用		児童生徒が考えを端末に入力して、グループやクラス全員が互いの考え方を共有する。また、児童生徒が作成した作品を交換したり、ドリル教材を用いて個別最適化した学習を進めている。
刈谷市	①全学年で活用		SKYMENU Cloudを利用して、意見交流をしたり、カメラ機能を利用して観察日記をつけたりしております。
豊田市	①全学年で活用		SKYMENU Cloudを活用し、協働的な学びを展開したり、インターネット等を活用し、調べ学習を行ったりするなど多岐に及んでいる。
安城市	①全学年で活用		・指導者用デジタル教科書による授業 ・スカイメニュークラウドのポジショニング機能や発表ノートの活用 ・MS「Forms」の活用 ・写真データの共有や調べ学習のまとめ
西尾市	①全学年で活用		・児童生徒がタブレットにまとめた自分の考えや作品を大型モニターに映して発表する。 ・各種WEBサイトを活用した調べ学習。 ・ドリル教材を用いて、自分のペースで問題に取り組む。
蒲郡市	①全学年で活用		調べ学習　ドリルパークで、授業内容を復習　コラボノートで意見交流
犬山市	①全学年で活用		調べ学習、共同学習、プレゼン作成など
常滑市	①全学年で活用		具体的な方針及び内容は検討中
江南市	①全学年で活用		Google Workspaceを使った協働学習やeライブラリを使った個別学習に取り組んでいる。
小牧市	①全学年で活用		・インターネットによる調べ学習 ・授業支援ソフトウェア（ロイロノート）を活用し、課題等の配布・回収・意見共有など ・ドリルソフトの活用 ・Word、PowerPointなどを活用し、新聞・発表資料の作成
稲沢市	①全学年で活用		・学習支援機能を活用して教師側から資料や課題を提示（配信）し、児童生徒の個々の考えを把握した上で、互いの考え方を共有し、深い学びにつなげている。 ・静止画、動画撮影機能を活用し、理科の観察をはじめ、実習を伴う教科において、自己・相互評価に生かしている。 ・道徳等でマッピング機能を用いて個の考えの変容や学級全体の考えの傾向をつかみながら、話し合いを深めている。
新城市	①全学年で活用		児童生徒が互いの考えを端末に入力してクラス全員が互いの考え方を共有し議論して考えを深めたり、ドリル教材を用いて個別にあった問題を解決したりする。

議題１　GIGAスクール構想実現に向けたICT環境整備後の端末の活用方法について（一宮市提出）

市名	回答		
	（１）端末を授業で活用する学年について	【②、④の場合】内容を記載	（２）授業での活用内容
東　海　市	①全学年で活用		①全学年で活用
大　府　市	①全学年で活用		授業全般多岐にわたって使用されています。
知　多　市	①全学年で活用		児童生徒が互いの考えを端末に入力してクラス全員が互いの考え方を共有し議論して考えを深めたり、（トライアル中の）ドリル教材を用いて個に応じた問題に取り組んだりしている。
知　立　市	①全学年で活用		児童生徒が互いの考えを端末に入力してクラス全員が互いの考えを共有し、話し合うなどして考えを深めたり、ドリル教材を用いて個別学習に取り組んだりしている。
尾 張 旭 市	①全学年で活用		・教師が教科書などの教材を拡大掲示する。 ・児童生徒が共通のアプリを活用して課題を共有する。 ・児童生徒が共通のアプリを使って教員に課題を提出する。 ・児童生徒がドリル教材で繰り返し学習を行う。 ・タブレットのカメラ機能を活用して、植物の観察等を行う。
高　浜　市	①全学年で活用		ロイロノートによる資料配付、回答集約、意見共有、アンケート作成 デジタル教科書の使用、プレゼンテーション作成 アプリを使用した自主学習 自分の英語の発音、歌や楽器の演奏等を撮影して記録（自己の成長を実感する材料にする） タブレットで撮影した写真、動画等を取り込んで作成した資料を、個々のタブレットや電子黒板に投影して共有
岩　倉　市	①全学年で活用		ロイロノートスクールにより教員から資料を配付したり、児童生徒から提出物を提出してもらったり、児童生徒の考えを共有し、議論し、考えを深めることなどに利用している。また、ドリル教材により児童生徒、個人に適した問題に取り組んでいる。
豊　明　市	①全学年で活用		児童生徒が互いの考えを端末に入力してクラス全員が互いの考え方を共有し議論して考えを深めたり、体育での動きの確認や、植物の成長記録を作成したりする際に活用。
日　進　市	①全学年で活用		学習支援ソフトウェア（SkyMenucloud）にて教職員児童生徒間で課題配付及び回収等に活用しています。 また、カメラ、動画機能を用いて、各々が授業（理科の観察記録、体育の実践等）を振り返る際、有効的に活用しています。
田　原　市	①全学年で活用		・児童生徒が互いの考えを端末に入力してクラス全員が互いの考え方を共有し議論して考えを深める学習 ・インターネットによる調べ学習 ・写真や動画などの記録
愛　西　市	①全学年で活用		協働学習ソフトやドリルソフトの利用
清　須　市	①全学年で活用		答えまでの考え方をタブレット端末でクラス全員で共有。 ドリル教材を用いた教育の個別最適化を図っている。
北名古屋市	①全学年で活用		授業支援ソフトを用いた課題の提出や、グループワーク、インターネット調べに活用している。
弥　富　市	①全学年で活用		児童生徒が互いの考えを端末に入力してクラス全員に互いの考えを共有したり、理科などでは、カメラ機能を使い観察記録等を作成しクラスで共有している。
み よ し 市	①全学年で活用		学習支援ソフト（ミライシード）を導入しているため、ドリル学習に活用したり、自分の考えをまとめ、発表したりするなどして、学びを深める取組を行っている。また、無料のアプリケーション（市教委が許可したもの）を活用した取組も行っています。
あ　ま　市	①全学年で活用		児童生徒一人一人の考えを端末を用いてクラスで共有し議論したり、それぞれの児童生徒の学習状況にあった問題をドリル教材を用いて解決する。 子供のノートや教師が用意した教材を大型提示装置にうつしだす。
長 久 手 市	①全学年で活用		学習支援ソフトの使用 インターネットによる調べ学習 カメラ機能による記録撮影